

事項	最近話題のりんご新品種の特性
ねらい	国公立の試験場及び民間で育成されたりんごの新品種が次々と登録され、関係者の中で注目されている。りんご試験場ではこれら新品種の青森県における特性を検討している。今回、その試験データを公表し、品種選択上の参考に供する。
指導 参考 内容	<p>1 発芽日から落花日までの生態 「ふじ」より生態の早い品種は、「あおり9(彩香)」である。 生態の遅い品種は、「あおり12」、「あおり13」、「きおう」、「シナノスイート」、「シナノゴールド」である。 その他の品種の生態は、「ふじ」とほぼ同程度である。</p> <p>2 収穫時期 (1) 8月下旬まで(極早生種) 「ちなつ」、「あおり11」、「あおり12」、「あおり16」、「シナノレッド」 (2) 9月上旬～9月下旬(早生種) 「きおう」、「あおり9(彩香)」 (3) 10月上旬～10月中旬(中生種) 「ひろさきふじ」、「昂林」、「あおり13」、「シナノスイート」 (4) 10月下旬～11月上旬(晩生種) 「あおり15」、「シナノゴールド」、「こうこう」</p> <p>3 果実品質 (1) 極早生種 極早生種の中では「あおり12」と「シナノレッド」は比較的大玉傾向にあり、酸味は強いが食味の評価は高い。「あおり16」は小玉であるが甘味が強く食味の評価が高い。 (2) 早生種 早生種の中では「きおう」は食味が良く、大玉であり、この時期に黄色品種が少ないことから注目度が高い。「あおり9(彩香)」は「つがる」と中生種をつなぐ品種として、甘い品種が多い中で酸味のある品種である。 (3) 中晩生種 中晩生種の中では「あおり13」は大玉で甘味が強く、蜜が入り食味が良い。「シナノゴールド」、「あおり15」は貯蔵性が高く、黄色の長期貯蔵用品種である。</p> <p>4 交雑和合性 S遺伝子型から交雑和合性を推定すると、「ふじ」と不和合となる品種は「ひろさきふじ」、「昂林」である。「王林」と不和合となる品種は「あおり9(彩香)」である。その他の品種については主要品種と和合性がある。 なお、「あおり9(彩香)」は3倍体品種で、「あおり15」は花粉がないので、ともに花粉は使用できない。</p>
期待される効果	これから、生産者が品種を選択する上での参考となる。
利用上の注意事項	
担当	青森県農林総合センターりんご試験場 育種部
対象地域	県下全域
発表文献等	平成11年～15年度 果樹系統適応性・特性検定成績検討会資料 平成11年～15年度 青森県りんご試験場試験研究成績概要集

【根拠となった主要な試験結果】

表1 りんご新品種の生態

(平成11～15年 青森農林総研りんご試)

品種名	発芽日	開花日	満開日	落花日	備考
ふじ(比較)	4. 8	5. 6	5. 11	5. 17	平成11～15年の平均値
つがる(比較)	4. 7	5. 4	5. 12	5. 17	平成11～15年の平均値
ちなつ	4. 6	5. 4	5. 11	5. 17	平成12～15年の平均値
あおり11	4. 9	5. 5	5. 11	5. 17	平成11～15年の平均値
あおり12	4. 10	5. 6	5. 13	5. 19	〃
あおり16	4. 5	5. 4	5. 10	5. 11	〃
シナノレッド	4. 7	5. 5	5. 11	5. 17	〃
きおう*	4. 6	5. 5	5. 13	5. 18	平成12～15年の平均値
あおり9(彩香)*	4. 6	5. 2	5. 8	5. 14	平成11～15年の平均値
ひろさきふじ	4. 7	5. 6	5. 11	5. 17	平成12～15年の平均値
昂林	4. 7	5. 5	5. 10	5. 17	〃
あおり13*	4. 8	5. 6	5. 13	5. 18	平成11～15年の平均値
シナノスイート	4. 8	5. 6	5. 12	5. 18	〃
あおり15*	4. 7	5. 6	5. 11	5. 17	〃
シナノゴールド	4. 9	5. 8	5. 13	5. 18	平成13、15年の平均値
こうこう	4. 10	5. 6	5. 14	5. 19	平成12～15年の平均値

(注) 1 *印の品種は試作品種

2 生態は過去5年間の平均値で取りまとめた。新植、改植等で5年間のデータが得られなかった品種は4年間ないし3年間のデータを平均した。

表2 りんご新品種の果実品質

(平成11～15年 青森農林総研りんご試)

品種名	収穫日 (月日)	一果重 (g)	硬 度 (lbs.)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)	備考
ふじ(比較)	11. 7	350	15. 9	15. 0	0. 37	
つがる(比較)	9. 14	279	14. 7	13. 5	0. 26	
ちなつ	8. 11	195	15. 6	12. 6	0. 63	
あおり11	8. 11	234	13. 9	12. 0	0. 44	
あおり12	8. 11	300	12. 8	12. 0	0. 64	
あおり16	8. 13	221	16. 2	13. 2	0. 35	
シナノレッド	8. 24	274	16. 4	13. 0	0. 54	
きおう*	9. 4	295	16. 2	13. 2	0. 40	黄色品種
あおり9(彩香)*	9. 25	311	15. 9	14. 2	0. 46	
ひろさきふじ	9. 28	305	15. 0	15. 0	0. 39	
昂林	10. 1	336	13. 9	13. 8	0. 34	
あおり13*	10. 6	417	16. 1	14. 2	0. 32	
シナノスイート	10. 8	302	12. 8	14. 2	0. 28	
あおり15*	10. 21	285	14. 3	15. 7	0. 36	黄色品種
シナノゴールド	10. 21	371	15. 7	14. 6	0. 49	黄色品種
こうこう	11. 1	349	16. 0	14. 0	0. 34	黄色品種

(注) 1 *印の品種は試作品種

2 果実品質について過去5年間の平均値で取りまとめた。新植、改植等で5年間のデータが得られなかった品種は4年間ないし3年間のデータを平均した。

表3 りんご新品種のS遺伝子型

(平成15年 青森農林総研りんご試)

品種名	S遺伝子型	ふじとの和合性	品種名	S遺伝子型	ふじとの和合性
ふじ	S1S9	×	きおう	-	調査中
つがる	S3S7	○	あおり9(彩香)	S2S7S24	○
王林	S2S7	○	ひろさきふじ	S1S9	×
ジョナゴールド	S2S3S9	○	昂林	S1S9	×
ちなつ	S7-	○	あおり13	S7S9	○
あおり11	S7S25	○	シナノスイート	S1S7	○
あおり12	S7S24	○	あおり15	S1S30	○
あおり16	S9S30	○	シナノゴールド	S1S3	○
シナノレッド	S3S10	○	こうこう	-	調査中

(注) 1 交雑和合性は、自家不和合性遺伝子(S遺伝子)の分析によるものである。

2 S遺伝子型が同じ品種同士は相互に不和合となる。